

未処理軟質アルミ箔用アンカーコート剤（ノントルエンタイプ）

トオカ AC液シリーズ

トオカ AC液シリーズは、多色刷りデザインにおけるインキ、OPニスの十分な密着性付与と印刷物の諸物性向上を図る目的で開発した、未処理軟質アルミ箔用のアンカーコート剤です。ロングラン印刷適性に優れ、主に乳酸菌飲料やチルド製品に代表される、アルミキャップシールの印刷用途に適しています。印刷物に必要な物性内容に応じて、下記タイプをご用意しています。適正な選択により、一層広範な用途をカバーすることができます。

■ トオカ AC液シリーズ 各タイプ

- トオカ No. 7 AC液 ノントルタイプ NV （不揮発分:21±2%, 一般タイプ）
- トオカ No. 9 AC液 NT （不揮発分:23±2%, 耐ブロッキング性）
- トオカ No. 11 AC液 NT(M) （不揮発分:19±2%, 高密着性）

■ 特徴

- 未処理軟質アルミ箔に良好な密着性を有し、焼付けによって更に密着性の向上が図れます。
- 上刷りインキ、OPニスの転移性が向上し、濃度感に優れた印刷効果が得られます。
- 上刷りインキ、OPニスは、アンカーコート剤とのインライン、オフライン印刷の両方に対応が可能です。

■ 適用原反

- 未処理軟質アルミ箔

■ トオカ AC液シリーズの使用方法

- 標準希釈溶剤: ALFIT 2号溶剤
- 標準塗布量: $1.0 \pm 0.2 \text{g/m}^2$
- 推奨上刷りインキ、OPニス: NT-MX インキ/ネクサス OPニス, ネクサス インキ/ネクサス OPニス
- 印刷粘度: 14~18秒(ザーンカップ No.3, 25°C)をお勧めいたしますが、設定する塗布量に合わせて調整して下さい。

■ 注意事項

- 印刷面にブラッシングが発生する場合には、希釈溶剤を酢酸nプロピル(NPAC)に一部置き換えることにより効果が見られます。
- 乾燥温度の不足により、密着性のバラつきが懸念されますので、特に冬場の乾燥条件にはご注意ください。また安定した密着性を付与する為、印刷後の焼き付けをご推奨します。
- 残留圧延油による汚染アルミ箔への使用に際しては、予めアンカーコート剤およびインキの密着性をご確認ください。
- 諸物性は当社試験方法に基づくもので、アルミ箔の材質、印刷構成などの条件によって、貴社の必要条件に適合しないケースも考えられます。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。



日清インキ工業株式会社